

# 内堀醸造(株)

八百津町・製造業(食品)

平成30年度  
認定

各部署の仕事を見える化して、各社員が持つスキルを把握。特定の人しかできない作業を無くすことで負担を軽減する。地元の駅伝大会への参加を促すなど、健康増進への取り組みも積極的に行う。

従業員数/男性77名 女性78名 計155名 ※平成30年7月現在

製造業

## スキルマップで仕事を見える化

各部署の業務で必要なスキルを

洗い出し、各社員の従事可能な業務を一覧表にまとめたスキルマップを作成。各部署の仕事の見える化を行い、計画的な人材育成を図る。子どもが発熱などの緊急時も円滑な業務代行が可能だ。2017年の年次有給休暇取得率は79.5%で、業界平均の56.2%を大きく上回る。品質管理課の鷺見聡子さんは、「その人しかできない仕事を無くすため、新たなスキルを身に付けよ

うと思える」と話す。

月1回の会議で各部署の時間外労働時間を把握し、時間外労働が多い社員には適切な指導を行うことで正社員の月平均時間外労働時間が、16年から18年で約4時間減少した。

年に1度上司との個別面談を実施。入社2年目、5年目を迎える社員には重点的に研修などを行う。

2016年には、若者の雇用管理が優良な中小企業に送られる「ユ一

スエール認定企業」に東

海地区の製造業として

初めて選出されるなど

働きやすい環境を整える。

月末の金曜日を自社

製品を使用して食事を

する「サラダの日」とし

て設定。自社製品を社

員が使うことで、会社へ

の愛着心向上を図る。



「サラダの日」では自社製品の良さを直接感じることができ、他部署との交流も図れて会社への愛着心を向上させている。

総務課の門井遥さんは、「自社の製品に直接触れることができ、他部署との交流も図れる」と効果を実感している。

また、産業カウンセラーの資格を持つメンタルヘルスマネージャーと気軽に相談できる場を設けるなど社員の精神面のケアにも力を入れ、長く働き続けられる職場環境を整備している。